

授業概要

科目名	シミュレーション実習Ⅰ					授業の種類	実習	講師名	中澤寛之、坪田裕司、犬塚渡			
授業回数	135	回	時間数	270	時間	6	単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	1	通年
【授業の目的・ねらい】 救急救命士が現場において必要とされる観察や手技、判断およびそれぞれの処置に対してその必要性を理解して実施できることを目的とする。また傷病者や関係者、医師や看護師等とのコミュニケーション技能も本実習にて学ぶこととする。												
【実務者経験】 消防機関に入職後約15年間に救急隊として従事し、その後2年は医療機関や民間救急にてドクターカーの運用や民間患者搬送業務に携わる。												
【授業全体の内容の概要】 基本手技を身に付けたうえで、消防におけるプロトコールに基づいた救急隊の活動をメインにシミュレーションを実施する。また同時に隊長を中心とした指揮命令系統の重要性も理解する。												
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 学生自身が根拠を持って処置にあたることを到達目標とする。傷病者の状態に合わせた、観察・判断・処置・評価を繰り返し行いながら医療機関へ命を繋げれる救急救命士を目指す。												
回数	講義内容										準備物(教材)	
1	資器材の取り扱い										隊長バック 各種資器材	
2	一次救命処置										シュミレーター	
3	一次救命処置（AED）										シュミレーター AED	
4	応急手当（三角巾＝固定法・止血法）										三角巾	
5	ストレッチャー基本動作、回復体位										ストレッチャー	
6	異物除去（ハイムリック法・背部叩打法・マギール鉗子）										各種トレーナー	
7	搬送法（徒手搬送＝一人法・二人法・三人法）ターポリン担架・ストレッチャー搬送										ターポリン担架 ストレッチャー	
8	バイタルサイン測定										血圧計、聴診器	
9	バイタルサイン測定(意識・気道・呼吸・循環・体温) 個別										血圧計、聴診器 ペンライト	
10	バイタルサイン測定(意識・気道・呼吸・循環・体温) 隊活動										血圧計、聴診器 ペンライト	
11	バイタルサイン測定(意識・気道・呼吸・循環・体温) 隊活動復習										血圧計、聴診器 ペンライト	
12	バイタルサイン測定(意識・気道・呼吸・循環・体温) 隊活動復習										血圧計、聴診器 ペンライト	
13	隊活動：一次救命処置（状況評価・初期評価・CPR）2隊並行										セーブマン・SimMan AEDトレーナー	
14	隊活動：一次救命処置（状況評価・初期評価・CPR）2隊並行										セーブマン・SimMan AEDトレーナー	
15	隊活動：一次救命処置（状況評価・初期評価・CPR）2隊並行										セーブマン・SimMan AEDトレーナー	
【使用教科書・教材・参考書】 救急救命士標準テキスト・救急資器材マニュアル												
【準備学習・時間外学習】												
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】												
OSCE試験（履修規定に準じる）												

授業概要

科目名	シミュレーション実習Ⅰ					授業の種類	実習	講師名	中澤寛之、坪田裕司、犬塚渡			
授業回数	135	回	時間数	270	時間	6	単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	1	通年
【授業の目的・ねらい】 救急救命士が現場において必要とされる観察や手技、判断およびそれぞれの処置に対してその必要性を理解して実施できることを目的とする。また傷病者や関係者、医師や看護師等とのコミュニケーション技能も本実習にて学ぶこととする。												
【実務者経験】 消防機関に入職後約15年間で救急隊として従事し、その後2年は医療機関や民間救急にてドクターカーの運用や民間患者搬送業務に携わる。												
【授業全体の内容の概要】 基本手技を身に付けたうえで、消防におけるプロトコールに基づいた救急隊の活動をメインにシミュレーションを実施する。また同時に隊長を中心とした指揮命令系統の重要性も理解する。												
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 学生自身が根拠を持って処置にあたることを到達目標とする。傷病者の状態に合わせた、観察・判断・処置・評価を繰り返し行いながら医療機関へ命を繋げれる救急救命士を目指す。												
回数	講義内容										準備物(教材)	
16	隊活動：一次救命処置（状況評価・初期評価・気道異物）窒息傷病者										セーブマン AEDトレレー	
17	隊活動：一次救命処置（状況評価・初期評価・気道異物）CPA傷病者										セーブマン AEDトレレー	
18	隊活動：状況評価・初期評価（A・B・Cの異常）										セーブマン AEDトレレー	
19	隊活動：状況評価・初期評価（A・B・Cの異常）										セーブマン AEDトレレー	
20	隊活動：状況評価・初期評価（A・B・Cの異常）処置再評価										セーブマン AEDトレレー	
21	隊活動：状況評価・初期評価（A・B・Cの異常）処置再評価										セーブマン AEDトレレー	
22	隊活動：状況評価・初期評価（A・B・Cの異常）処置再評価										セーブマン AEDトレレー	
23	隊活動：状況評価・初期評価（A・B・Cの異常）処置再評価										セーブマン AEDトレレー	
24	隊活動：状況評価・初期評価（A・B・Cの異常）心停止波形の評価										セーブマン TEC2603	
25	隊活動：状況評価・初期評価（A・B・Cの異常）心停止波形の評価・容態変化後の再確認										セーブマン TEC2603	
26	隊活動：状況評価・初期評価（A・B・Cの異常）心停止波形の評価・容態変化後の再確認										セーブマン TEC2603	
27	隊活動：状況評価・初期評価（A・B・Cの異常）容態変化後の再確認										セーブマン TEC2603	
28	隊活動：状況評価・初期評価（A・B・Cの異常）容態変化後の再確認										セーブマン TEC2603	
29	隊活動：状況評価・初期評価（A・B・Cの異常）容態変化後の再確認										セーブマン TEC2603	
30	隊活動：状況評価・初期評価（A・B・Cの異常）容態変化後の再確認										セーブマン TEC2603	
【使用教科書・教材・参考書】 救急救命士標準テキスト・救急資器材マニュアル												
【準備学習・時間外学習】												
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】												
OSCE試験（履修規定に準じる）												

授業概要

科目名	シミュレーション実習Ⅰ					授業の種類	実習	講師名	中澤寛之、坪田裕司、犬塚渡			
授業回数	135	回	時間数	270	時間	6	単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	1	通年
【授業の目的・ねらい】 救急救命士が現場において必要とされる観察や手技、判断およびそれぞれの処置に対してその必要性を理解して実施できることを目的とする。また傷病者や関係者、医師や看護師等とのコミュニケーション技能も本実習にて学ぶこととする。												
【実務者経験】 消防機関に入職後約15年間に救急隊として従事し、その後2年は医療機関や民間救急にてドクターカーの運用や民間患者搬送業務に携わる。												
【授業全体の内容の概要】 基本手技を身に付けたうえで、消防におけるプロトコールに基づいた救急隊の活動をメインにシミュレーションを実施する。また同時に隊長を中心とした指揮命令系統の重要性も理解する。												
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 学生自身が根拠を持って処置にあたることを到達目標とする。傷病者の状態に合わせた、観察・判断・処置・評価を繰り返し行いながら医療機関へ命を繋げれる救急救命士を目指す。												
回数	講義内容										準備物(教材)	
31	手技訓練：喉頭展開およびマギールマギール鉗子による異物除去										気道管理トレーナー	
32	手技訓練：喉頭展開およびマギールマギール鉗子による異物除去										気道管理トレーナー	
33	手技訓練：BVM換気、経鼻エアウェイ、口腔エアウェイ										気道管理トレーナー	
34	手技訓練：BVM換気、経鼻エアウェイ、口腔エアウェイ										気道管理トレーナー	
35	隊活動：窒息傷病者に対する活動（初期評価・状況評価・異物除去・CPR等）										セーブマン TEC2603	
36	隊活動：窒息傷病者に対する活動（初期評価・状況評価・異物除去・CPR等）										セーブマン TEC2603	
37	隊活動：窒息傷病者に対する活動（初期評価・状況評価・異物除去・CPR等）										セーブマン TEC2603	
38	隊活動：窒息傷病者に対する活動（初期評価・状況評価・異物除去・CPR等）										セーブマン TEC2603	
39	隊活動：現着CPAに対する活動（初期評価・状況評価・CPR等）										セーブマン TEC2603	
40	隊活動：現着CPAに対する活動（初期評価・状況評価・CPR等）										セーブマン TEC2603	
41	隊活動：現着CPAに対する活動（初期評価・状況評価・CPR等）										セーブマン TEC2603	
42	隊活動：現着CPAに対する活動（初期評価・状況評価・CPR等）										セーブマン TEC2603	
43	全身状態の観察（SAMPLE、GUMBA、BAGMASK）										セーブマン・生体	
44	全身状態の観察（外見、気道、呼吸、循環）										セーブマン・生体	
45	全身状態の観察（外見、気道、呼吸、循環）										セーブマン・生体	
【使用教科書・教材・参考書】 救急救命士標準テキスト・救急資器材マニュアル												
【準備学習・時間外学習】												
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】												
OSCE試験（履修規定に準じる）												

授業概要

科目名	シミュレーション実習Ⅰ					授業の種類	実習	講師名	中澤寛之、坪田裕司、犬塚達			
授業回数	135	回	時間数	270	時間	6	単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	1	通年
【授業の目的・ねらい】 救急救命士が現場において必要とされる観察や手技、判断およびそれぞれの処置に対してその必要性を理解して実施できることを目的とする。また傷病者や関係者、医師や看護師等とのコミュニケーション技能も本実習にて学ぶこととする。												
【実務者経験】 消防機関に入職後約15年間で救急隊として従事し、その後2年は医療機関や民間救急にてドクターカーの運用や民間患者搬送業務に携わる。												
【授業全体の内容の概要】 基本手技を身に付けたうえで、消防におけるプロトコールに基づいた救急隊の活動をメインにシミュレーションを実施する。また同時に隊長を中心とした指揮命令系統の重要性も理解する。												
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 学生自身が根拠を持って処置にあたれることを到達目標とする。傷病者の状態に合わせた、観察・判断・処置・評価を繰り返し行いながら医療機関へ命を繋げられる救急救命士を目指す。												
回数	講義内容										準備物(教材)	
46	全身状態の観察（JCS, GCS）										セーブマン・生体	
47	全身状態の観察（JCS, GCS）										セーブマン・生体	
48	局所の観察（皮膚・頭部・顔面・頸部）										セーブマン・生体	
49	局所の観察（胸部・背部）										セーブマン・生体	
50	局所の観察（腹部、鼠径部・会陰部・骨盤、四肢、手指・足趾・爪）										セーブマン・生体	
51	神経所見の観察（運動麻痺）										セーブマン・生体	
52	神経所見の観察（髄膜刺激症状、脳卒中スケール）										セーブマン・生体	
53	神経所見の観察（脳卒中スケール）										セーブマン・生体	
54	資器材による観察（パルスオキシメーター、カプノメーター、心電図モニター）										セーブマン	
55	資器材による観察（パルスオキシメーター、カプノメーター、心電図モニター）										セーブマン	
56	資器材による観察（パルスオキシメーター、カプノメーター、心電図モニター）										セーブマン	
57	資器材による観察（パルスオキシメーター、カプノメーター、心電図モニター）										セーブマン	
58	資器材による観察（聴診器、血圧計）											
59	資器材による観察（聴診器、血圧計）											
60	声門上気道デバイスを用いた気道確保（ラリングアルマスク、i-gel）											
【使用教科書・教材・参考書】 救急救命士標準テキスト・救急資器材マニュアル												
【準備学習・時間外学習】												
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】												
OSCE試験（履修規定に準じる）												

授業概要

科目名	シミュレーション実習Ⅰ					授業の種類	実習	講師名	中澤寛之、坪田裕司、犬塚渡			
授業回数	135	回	時間数	270	時間	6	単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	1	通年
【授業の目的・ねらい】 救急救命士が現場において必要とされる観察や手技、判断およびそれぞれの処置に対してその必要性を理解して実施できることを目的とする。また傷病者や関係者、医師や看護師等とのコミュニケーション技能も本実習にて学ぶこととする。												
【実務者経験】 消防機関に入職後約15年間に救急隊として従事し、その後2年は医療機関や民間救急にてドクターカーの運用や民間患者搬送業務に携わる。												
【授業全体の内容の概要】 基本手技を身に付けたうえで、消防におけるプロトコールに基づいた救急隊の活動をメインにシミュレーションを実施する。また同時に隊長を中心とした指揮命令系統の重要性も理解する。												
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 学生自身が根拠を持って処置にあたることを到達目標とする。傷病者の状態に合わせた、観察・判断・処置・評価を繰り返し行いながら医療機関へ命を繋げれる救急救命士を目指す。												
回数	講義内容										準備物(教材)	
61	声門上気道デバイスを用いた気道確保（ラリングルチューブ）										セーブマン	
62	声門上気道デバイスを用いた気道確保（ラリングルチューブ）										セーブマン	
63	酸素投与（酸素ボンベ、鼻カニューレ、リザーバー付きマスク）										セーブマン	
64	酸素投与（酸素ボンベ、鼻カニューレ、リザーバー付きマスク）										セーブマン	
65	人工呼吸（BYM換気）										セーブマン	
66	人工呼吸（BYM換気）										セーブマン	
67	人工呼吸（搬送用自動式人工呼吸器）										セーブマン・SimMan AEDトレーナー	
68	人工呼吸（搬送用自動式人工呼吸器）										セーブマン・SimMan AEDトレーナー	
69	隊活動における胸骨圧迫＆電気ショック										セーブマン・SimMan AEDトレーナー	
70	隊活動における胸骨圧迫＆電気ショック										セーブマン・SimMan AEDトレーナー	
71	隊活動における胸骨圧迫＆電気ショック										セーブマン・SimMan AEDトレーナー	
72	隊活動における胸骨圧迫＆電気ショック										セーブマン・SimMan AEDトレーナー	
73	隊活動における胸骨圧迫＆電気ショック										ストレッチャー 毛布・布担架	
74	体位管理・体温管理（セミファウラー位、ファウラー位、起坐位）										ストレッチャー 毛布・布担架	
75	体位管理・体温管理（膝屈曲位、ショック体位、保温、冷却）										ストレッチャー 毛布・布担架	
【使用教科書・教材・参考書】 救急救命士標準テキスト・救急資器材マニュアル												
【準備学習・時間外学習】												
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】												
OSCE試験（履修規定に準じる）												

授業概要

科目名		シミュレーション実習Ⅰ				授業の種類	実習	講師名	中澤寛之、坪田裕司、犬塚渡			
授業回数	135	回	時間数	270	時間	6	単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	1	通年
【授業の目的・ねらい】 救急救命士が現場において必要とされる観察や手技、判断およびそれぞれの処置に対してその必要性を理解して実施できることを目的とする。また傷病者や関係者、医師や看護師等とのコミュニケーション技能も本実習にて学ぶこととする。												
【実務者経験】 消防機関に入職後約15年間に救急隊として従事し、その後2年は医療機関や民間救急にてドクターカーの運用や民間患者搬送業務に携わる。												
【授業全体の内容の概要】 基本手技を身に付けたうえで、消防におけるプロトコールに基づいた救急隊の活動をメインにシミュレーションを実施する。また同時に隊長を中心とした指揮命令系統の重要性も理解する。												
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 学生自身が根拠を持って処置にあたることを到達目標とする。傷病者の状態に合わせた、観察・判断・処置・評価を繰り返し行いながら医療機関へ命を繋げれる救急救命士を目指す。												
回数	講義内容										準備物(教材)	
76	創傷処置・固定（洗浄・被覆）										セーブマン TEC2603	
77	創傷処置・固定（四肢の骨折・脱臼の固定）										セーブマン TEC2603	
78	創傷処置・固定（外傷による傷病者の固定）										セーブマン TEC2603	
79	患者搬送（ボディメカニクス）										セーブマン TEC2603	
80	患者搬送（ストレッチャー基本・応用）										セーブマン TEC2603	
81	患者搬送（ストレッチャー基本・応用）										セーブマン TEC2603	
82	患者搬送（徒手搬送等）										セーブマン TEC2603	
83	隊活動：現着CPA（状況評価・初期評価・CPR・気道確保・心停止波形の評価・除細動等）										セーブマン TEC2603	
84	隊活動：現着CPA（状況評価・初期評価・CPR・気道確保・心停止波形の評価・除細動等）										セーブマン TEC2603	
85	隊活動：現着CPA（状況評価・初期評価・CPR・気道確保・心停止波形の評価・除細動等）										セーブマン TEC2603	
86	隊活動：現着CPA（状況評価・初期評価・CPR・気道確保・心停止波形の評価・除細動等）										セーブマン TEC2603	
87	隊活動：現着CPA（状況評価・初期評価・CPR・気道確保・心停止波形の評価・除細動等）										セーブマン TEC2603	
88	隊活動：現着CPA（状況評価・初期評価・CPR・気道確保・心停止波形の評価・除細動等）										セーブマン TEC2603	
89	隊活動：現着CPA（状況評価・初期評価・CPR・気道確保・心停止波形の評価・除細動等）										セーブマン TEC2603	
90	隊活動：現着CPA（状況評価・初期評価・CPR・気道確保・心停止波形の評価・除細動等）										セーブマン TEC2603	
【使用教科書・教材・参考書】 救急救命士標準テキスト・救急資器材マニュアル												
【準備学習・時間外学習】												
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】												
OSCE試験（履修規定に準じる）												

授業概要

科目名	シミュレーション実習Ⅰ					授業の種類	実習	講師名	中澤寛之、坪田裕司、犬塚渡			
授業回数	135	回	時間数	270	時間	6	単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	1	通年
【授業の目的・ねらい】 救急救命士が現場において必要とされる観察や手技、判断およびそれぞれの処置に対してその必要性を理解して実施できることを目的とする。また傷病者や関係者、医師や看護師等とのコミュニケーション技能も本実習にて学ぶこととする。												
【実務者経験】 消防機関に入職後約15年間に救急隊として従事し、その後2年は医療機関や民間救急にてドクターカーの運用や民間患者搬送業務に携わる。												
【授業全体の内容の概要】 基本手技を身に付けたうえで、消防におけるプロトコールに基づいた救急隊の活動をメインにシミュレーションを実施する。また同時に隊長を中心とした指揮命令系統の重要性も理解する。												
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 学生自身が根拠を持って処置にあたることを到達目標とする。傷病者の状態に合わせた、観察・判断・処置・評価を繰り返し行いながら医療機関へ命を繋げれる救急救命士を目指す。												
回数	講義内容										準備物(教材)	
91	隊活動：現着CPA（状況評価・初期評価・CPR・気道確保・心停止波形の評価・除細動等）										セーブマン TEC2603	
92	隊活動：現着CPA（状況評価・初期評価・CPR・気道確保・心停止波形の評価・除細動等）										セーブマン TEC2603	
93	隊活動：現着CPA（状況評価・初期評価・CPR・気道確保・心停止波形の評価・除細動等）										セーブマン TEC2603	
94	隊活動：現着CPA（状況評価・初期評価・CPR・気道確保・心停止波形の評価・除細動等）										セーブマン TEC2603	
95	隊活動：非CPA（状況評価・初期評価・観察・聴取・心電図波形の評価・容態変化への対応等）										セーブマン TEC2603	
96	隊活動：非CPA（状況評価・初期評価・観察・聴取・心電図波形の評価・容態変化への対応等）										セーブマン TEC2603	
97	隊活動：非CPA（状況評価・初期評価・観察・聴取・心電図波形の評価・容態変化への対応等）										セーブマン TEC2603	
98	隊活動：非CPA（状況評価・初期評価・観察・聴取・心電図波形の評価・容態変化への対応等）										セーブマン TEC2603	
99	隊活動：非CPA（状況評価・初期評価・観察・聴取・心電図波形の評価・容態変化への対応等）										セーブマン TEC2603	
100	隊活動：非CPA（状況評価・初期評価・観察・聴取・心電図波形の評価・容態変化への対応等）										セーブマン TEC2603	
101	隊活動：非CPA（状況評価・初期評価・観察・聴取・心電図波形の評価・容態変化への対応等）										セーブマン TEC2603	
102	隊活動：非CPA（状況評価・初期評価・観察・聴取・心電図波形の評価・容態変化への対応等）										セーブマン TEC2603	
103	隊活動：非CPA（状況評価・初期評価・観察・聴取・心電図波形の評価・容態変化への対応等）										セーブマン TEC2603	
104	隊活動：非CPA（状況評価・初期評価・観察・聴取・心電図波形の評価・容態変化への対応等）										セーブマン TEC2603	
105	隊活動：非CPA（状況評価・初期評価・観察・聴取・心電図波形の評価・容態変化への対応等）										セーブマン TEC2603	
【使用教科書・教材・参考書】 救急救命士標準テキスト・救急資器材マニュアル												
【準備学習・時間外学習】												
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】												
OSCE試験（履修規定に準じる）												

授業概要

科目名	シミュレーション実習Ⅰ					授業の種類	実習	講師名	中澤寛之、坪田裕司、大塚渡			
授業回数	135	回	時間数	270	時間	6	単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	1	通年
【授業の目的・ねらい】 救急救命士が現場において必要とされる観察や手技、判断およびそれぞれの処置に対してその必要性を理解して実施できることを目的とする。また傷病者や関係者、医師や看護師等とのコミュニケーション技能も本実習にて学ぶこととする。												
【実務者経験】 消防機関に入職後約15年間に救急隊として従事し、その後2年は医療機関や民間救急にてドクターカーの運用や民間患者搬送業務に携わる。												
【授業全体の内容の概要】 基本手技を身に付けたうえで、消防におけるプロトコールに基づいた救急隊の活動をメインにシミュレーションを実施する。また同時に隊長を中心とした指揮命令系統の重要性も理解する。												
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 学生自身が根拠を持って処置にあたることを到達目標とする。傷病者の状態に合わせた、観察・判断・処置・評価を繰り返し行いながら医療機関へ命を繋げれる救急救命士を目指す。												
回数	講義内容										準備物(教材)	
106	隊活動：非CPA（状況評価・初期評価・観察・聴取・心電図波形の評価・容態変化への対応等）										セーブマン TEC2603	
107	隊活動：非CPA（状況評価・初期評価・観察・聴取・心電図波形の評価・容態変化への対応等）										セーブマン TEC2603	
108	隊活動：非CPA（状況評価・初期評価・観察・聴取・心電図波形の評価・容態変化への対応等）										セーブマン TEC2603	
109	隊活動：非CPA（状況評価・初期評価・観察・聴取・心電図波形の評価・容態変化への対応等）										セーブマン TEC2603	
110	隊活動：非CPA（状況評価・初期評価・観察・聴取・心電図波形の評価・容態変化への対応等）										セーブマン TEC2603	
111	隊活動：非CPA（状況評価・初期評価・観察・聴取・心電図波形の評価・容態変化への対応等）										セーブマン TEC2603	
112	隊活動：非CPA（状況評価・初期評価・観察・聴取・心電図波形の評価・容態変化への対応等）										セーブマン TEC2603	
113	隊活動：非CPA→CPA（状況評価・観察・初期評価・気道確保・心停止波形の評価・容態変化への対応等）										セーブマン TEC2603	
114	隊活動：非CPA→CPA（状況評価・観察・初期評価・気道確保・心停止波形の評価・容態変化への対応等）										セーブマン TEC2603	
115	隊活動：非CPA→CPA（状況評価・観察・初期評価・気道確保・心停止波形の評価・容態変化への対応等）										セーブマン TEC2603	
116	隊活動：非CPA→CPA（状況評価・観察・初期評価・気道確保・心停止波形の評価・容態変化への対応等）										セーブマン TEC2603	
117	隊活動：非CPA→CPA（状況評価・観察・初期評価・気道確保・心停止波形の評価・容態変化への対応等）										セーブマン TEC2603	
118	隊活動：非CPA→CPA（状況評価・観察・初期評価・気道確保・心停止波形の評価・容態変化への対応等）										セーブマン TEC2603	
119	隊活動：非CPA→CPA（状況評価・観察・初期評価・気道確保・心停止波形の評価・容態変化への対応等）										セーブマン TEC2603	
120	隊活動：非CPA→CPA（状況評価・観察・初期評価・気道確保・心停止波形の評価・容態変化への対応等）										セーブマン TEC2603	
【使用教科書・教材・参考書】 救急救命士標準テキスト・救急資器材マニュアル												
【準備学習・時間外学習】												
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】												
OSCE試験（履修規定に準じる）												

授業概要

科目名		シミュレーション実習Ⅰ				授業の種類	実習	講師名	中澤寛之、坪田裕司、犬塚渡			
授業回数	135	回	時間数	270	時間	6	単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	1	通年
【授業の目的・ねらい】 救急救命士が現場において必要とされる観察や手技、判断およびそれぞれの処置に対してその必要性を理解して実施できることを目的とする。また傷病者や関係者、医師や看護師等とのコミュニケーション技能も本実習にて学ぶこととする。												
【実務者経験】 消防機関に入職後約15年間に救急隊として従事し、その後2年は医療機関や民間救急にてドクターカーの運用や民間患者搬送業務に携わる。												
【授業全体の内容の概要】 基本手技を身に付けたうえで、消防におけるプロトコールに基づいた救急隊の活動をメインにシミュレーションを実施する。また同時に隊長を中心とした指揮命令系統の重要性も理解する。												
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 学生自身が根拠を持って処置にあたることを到達目標とする。傷病者の状態に合わせた、観察・判断・処置・評価を繰り返し行いながら医療機関へ命を繋げれる救急救命士を目指す。												
回数	講義内容									準備物(教材)		
121	OSCE（CPA活動：異物除去における喉頭展開、BVM換気、胸骨圧迫、LT・経鼻・経口AWY、除細動等）									セーブマン TEC2603		
122	OSCE（CPA活動：異物除去における喉頭展開、BVM換気、胸骨圧迫、LT・経鼻・経口AWY、除細動等）									セーブマン TEC2603		
123	OSCE（CPA活動：異物除去における喉頭展開、BVM換気、胸骨圧迫、LT・経鼻・経口AWY、除細動等）									セーブマン TEC2603		
124	OSCE（CPA活動：異物除去における喉頭展開、BVM換気、胸骨圧迫、LT・経鼻・経口AWY、除細動等）									セーブマン TEC2603		
125	総復習（手技確認：胸骨圧迫、体位変換、ストレッチャー取り扱い等）									セーブマン TEC2603		
126	総復習（手技確認：BVM換気、酸素投与、気道確保デバイス等）									セーブマン TEC2603		
127	総復習（隊活動：CPA活動）									セーブマン TEC2603		
128	総復習（隊活動：CPA活動）									セーブマン TEC2603		
129	総復習（隊活動：CPA活動）									セーブマン TEC2603		
130	総復習（隊活動：非CPA活動）									セーブマン TEC2603		
131	総復習（隊活動：非CPA活動）									セーブマン TEC2603		
132	総復習（隊活動：非CPA活動）									セーブマン TEC2603		
133	総復習（隊活動：非CPA→CPA活動）									セーブマン TEC2603		
134	総復習（隊活動：非CPA→CPA活動）									セーブマン TEC2603		
135	総復習（隊活動：非CPA→CPA活動）									セーブマン TEC2603		
【使用教科書・教材・参考書】 救急救命士標準テキスト・救急資器材マニュアル												
【準備学習・時間外学習】												
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】												
OSCE試験（履修規定に準じる）												